

平成 2 5 年度

群馬県立都市公園指定管理者評価報告書

平成 2 6 年 9 月

群馬県立都市公園指定管理者評価委員会
事務局：群馬県県土整備部都市計画課

目 次

1	指定管理者制度の概要と評価の目的	1
2	群馬県立都市公園指定管理者評価委員会	2
	（1）評価委員会の概要	
	（2）評価方法	
	（3）評価基準	
	（4）評価委員会実施状況	
	（5）公園利用者アンケートの実施状況	
3	公園指定管理者の評価結果	5
	（1）評価結果一覧	
	（2）評価総評	
4	各公園指定管理者の細目評価結果	6
	（1）敷島公園	
	（2）群馬の森	
	（3）つつじが岡公園	
	（4）金山総合公園	
	（5）観音山ファミリーパーク	

1 指定管理者制度の概要と評価の目的

公の施設の管理に民間の知識・能力を活用して住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ること等を目的に平成15年の地方自治法（昭和22年法律第67号）改正によって「指定管理者制度」が導入され、従来、公社・事業団等に委託先が限定されていた公の施設の管理について、民間事業者も管理運営主体となることができることとなった。

これに伴い、平成18年度から群馬県県土整備部が所管する供用中の5県立都市公園においても、指定管理者制度を導入した。

指定管理者の業務内容については、公園管理者と指定管理者との間で締結された協定書及び仕様書に基づき履行確認がなされているが、指定管理者制度は、公の施設を一定の裁量を付与した上で民間事業者へ委ねる制度であり、履行確認のみならず、管理・運営に対する適切な評価・モニタリングが重要となる。

「群馬県立都市公園指定管理者評価委員会」（以下「評価委員会」という。）は、第三者の立場から指定管理者の業務実施状況を客観的に評価するとともに、今後の業務改善に反映させるために設置されたものである。

- ※公園管理者：公園を設置管理する者（群馬県県土整備部都市計画課・土木事務所）
- ※指定管理者：群馬県公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成16年群馬県条例第50号）第6条に基づき知事が指定した公園を管理運営する者

本報告書の対象となる県立都市公園及び指定管理者は、次のとおり。

■本報告書対象県立都市公園

公園名	敷島公園	群馬の森	つつじが岡公園	金山総合公園	観音山ファミリーパーク
公園種別	運動公園	総合公園	総合公園	総合公園	広域公園
供用開始経緯	大正11年10月 供用開始※1	昭和49年10月 供用開始	大正12年4月 供用開始※2	平成2年10月 供用開始	平成15年5月 供用開始
	昭和58年6月 現形	昭和56年3月 現形	平成26年4月 廃止 (館林市へ移管)	平成8年5月 現形	平成18年9月 現形
供用面積	17.8ha	26.2ha	12.9ha	18.7ha	60.3ha

※1 都市公園としての供用開始は、昭和31年10月。

※2 都市公園としての供用開始は、昭和32年7月。

■本報告書対象県立都市公園指定管理者

公園名	指定管理者	指定期間
敷島公園	敷島パークマネジメントJV	H24.4.1～H27.3.31
群馬の森	グリーンクラフトマン（株）	H25.4.1～H28.3.31
つつじが岡公園	館林市	H24.4.1～H26.4.1※
金山総合公園	山梅造園土木・ケービックスグループ	H24.4.1～H27.3.31
観音山ファミリーパーク	NPO法人KFP友の会	H24.4.1～H27.3.31

※つつじ岡公園は、平成26年4月1日で館林市へ移管したため、同日付けで指定管理者の指定を取り消している。

2 群馬県立都市公園指定管理者評価委員会

(1) 評価委員会の概要

評価委員会は、対象となる全公園について総合的に評価を実施する本部委員と、公園利用者の視点でそれぞれの公園のみの評価を実施する地元委員により組織される。委員の構成は次表のとおり（敬称略）。

公園名	本部委員	地元委員
敷島公園	委員長 ・小林 享 (学識経験者)	・栗原 秀夫 ・平石 美奈 ・永井 邦枝
群馬の森	委員 ・南 賢二 (学識経験者)	・松田 百合子 ・熊谷 晃 ・永井 正夫
つつじが岡公園	・藤井 良昭 (社会保険労務士)	・寺内 吉一 ・菅沼 志津子 ・篠原 勇一
金山総合公園	・吉永 哲也 (中小企業診断士)	・金子 敏之 ・佐藤 陽之助 ・逸見 勝利
観音山ファミリーパーク	・石澤 知子 (一級造園施工管理技士 一級建築士)	・内田 順子 ・黒澤 龍彦 ・山岸 勝治
	・中村 京子 (群馬県女性団体連絡協議会 顧問)	

(2) 評価方法

以下2点の方法により評価を行った。

- ①現地調査及び指定管理者ヒアリング
(平成25年度第1回・第3回評価委員会)
- ②「指定管理者によるセルフモニタリング」及び「県によるモニタリング」の確認
(年4回：四半期ごと)

また、評価項目は以下のとおり。

○維持管理業務

- ①清掃（屋内部分：建物・トイレ等）
- ②清掃（屋外部分：園路・駐車場・広場等）
- ③清掃（その他：遊具・ベンチ等）
- ④清掃（競技施設） ※敷島公園のみ
- ⑤植物管理（中高木）
- ⑥植物管理（低木）
- ⑦植物管理（芝生・花壇等）
- ⑧斜面地・園路沿いの植栽 ※金山総合公園・観音山ファミリーパークのみ

○運營業務

- ①利用実績・運営企画
- ②受付接客
- ③広報・広聴
- ④県民の参画

○自主事業

- ◎総合評価：各公園の特徴を考慮の上、評価項目ごとの重みの違いを勘案し、総合的に評価したもの

(3) 評価基準

次表の基準により4段階で評価を行った。

評価	説明
A	仕様書等に基づいて立てられた事業計画どおりの成果・実績があり、加えて施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫を行っている。
B	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行が、ほぼ満足されている。
C	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行すべき事項の中に、取組の弱いものがある。
D	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の内容に不履行がある。

(4) 評価委員会実施状況（平成25年度評価に関して）

年度	回数	実施日	場所	主な内容
H25 年度	第1回	平成25年5月23日	つつじが岡公園 金山総合公園	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査 ・H25年度管理運営状況審議 ・H25年度管理運営方針・事業計画書の審議
		平成25年6月25日	敷島公園	
		平成25年6月27日	群馬の森 観音山ファミリーパーク	
	第3回	平成25年12月18日	敷島公園	<ul style="list-style-type: none"> ・事前通知をしない現地調査 ・モニタリングシート確認 (H25年度第1・2四半期) ・H25年度管理運営状況審議
		平成26年1月16日	群馬の森 観音山ファミリーパーク	
		平成26年1月21日	金山総合公園 つつじが岡公園	
H26 年度	第1回	平成26年5月28日	群馬の森 観音山ファミリーパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングシート確認 (H25年度第3・4四半期) ・H25年度管理運営状況審議
		平成26年5月29日	敷島公園	
		平成26年6月3日	金山総合公園	
	第2回	平成26年9月9日	県庁	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度評価の確定

(5) 公園利用者アンケートの実施状況

公園利用者アンケートは、指定管理者の管理・運営状況及び利用状況を把握するため、統一内容で各公園の利用者を対象として一斉にアンケート調査を行ったものである。参考資料として平成25年度第3回評価委員会へ報告している。

公園名	調査実施日	調査方式
敷島公園	平成25年8月22日(木)～9月21日(土)	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式
群馬の森	平成25年8月22日(木)～9月21日(土)	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式
つつじが岡公園	平成25年8月22日(木)～9月21日(土)	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式
金山総合公園	平成25年8月22日(木)～9月21日(土)	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式
観音山ファミリーパーク	平成25年8月22日(木)～9月21日(土)	公園管理者・指定管理者 直接配布・回収方式

なお、各公園では、指定管理者により年間を通して常設定置式のアンケートボックスやご意見箱を設置し、公園利用者の声を収集し、管理・運営にいかしている。

3 公園指定管理者の評価結果

(1) 評価結果一覧

公園名	25年度 項目ごとの総括評価※1	25年度 総合評価※2
敷島公園	A	A
群馬の森	B	B
つつじが岡公園	B	B
金山総合公園	A	A
観音山ファミリーパーク	B	B

※1 各項目の評価結果は、「4 各公園指定管理者の細目評価結果」に記載。

※2 総合評価とは、各公園の特色を考慮の上、評価項目ごとの重みの違いを勘案し総合的に評価したものである。

(2) 評価総評

- 項目ごとの総括評価結果は、各公園「A」又は「B」であり、評価項目ごとにおおむね良好な管理・運営がなされたと評価できる。
- 総合評価結果は、各公園「A」又は「B」であり、全体的におおむね良好な管理・運営がなされたと評価できる。
- 各公園でそれぞれの施設特性をいかした自主事業や県民参画にも力を入れており、意欲的に業務に取り組んでいることが伺える。

4 各公園指定管理者の細目評価結果

(1) 敷島公園

評価項目		評価	総括評価 (項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等		
					評価できる点	今後検討すべき点	
維持 管理 業務	清掃	屋内	B	A	A	<p>○【清掃】清潔に保たれている。 ○【清掃】トイレの一輪挿し等工夫されている。 ○【清掃】4S(整理・整頓・清掃・清潔)により、管理の手順を分かりやすく徹底している。 ○【清掃】2月の豪雪後でも景観低下があまり見られなかった。 ○【植物管理】落枝に対する注意喚起が適切になされている。 ○【植物管理】剪定が適切に行われていた。 ○【植物管理】花壇には季節の花が植えてあり、気持ちが良い。 ○【植物管理】芝の管理がよくなされている。特に競技場の芝の管理が良い。</p>	<p>○【清掃】トイレが少し暗い感じがする。 ○【清掃】競技場施設の鉄部のさびが気になる。 ○【植物管理】花壇の花が少ない。特に、日陰・半日陰の草花が少ない。 ○【植物管理】運動場ではなく、運動公園であるので、修景デザインの向上が求められる。</p>
		屋外	A				
		遊具等	A				
		競技施設	A				
	植物 管理	中高木	A				
		低木	A				
		芝生・花壇	A				
斜面地・園路沿いの植栽							
運営 業務	利用実績・運営企画	A	A	A	<p>○【運営企画】数値化された管理が行われている。 ○【運営企画】公園と文化の組合せを目指す取組は良い。 ○【広報・広聴】イベントや講習等のチラシが公園周辺の町内の回覧に入っていて、分かりやすい。 ○【県民の参画】ボランティアとの花壇作りを積極的に行っている。ボランティア活動が充実している。</p>	<p>○【広報・広聴】【県民の参画】運営理念である「スポレクの拠点施設」としての役割を、低迷するアマチュアスポーツチームにも広報等でもう少し打ち出せると良い。</p>	
	受付接客	A					
	広報・広聴	A					
	県民の参画	A					
自主事業		A				<p>○「敷島本の森」における不要本の引取り・貸本の工夫は、評価できる。 ○公園の特徴をいかしたイベントを実施しており、また指定管理者の勤務体制を変更して利用者の要望に応えるなど、利用促進に積極的に取り組んでいる。 ○幅広い世代を対象とした取組がなされている。</p>	<p>○運動施設の割には、水泳以外でのスポーツ教室が少ない。</p>
その他						<p>○評価委員会で出された意見がよく反映されている。 ○管理・サービス水準の向上に対する意欲は評価できる。現地調査の際に指定管理者職員がゴミ拾いをしながら歩いている、意識の高さを感じた。 ○建物が古く破損箇所も多いが、全体的によく管理されている。抜き打ち調査であっても、よく管理されていることが確認できた。</p>	

(2) 群馬の森

評価項目		評価	総括評価 (項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等		
					評価できる点	今後検討すべき点	
維持管理業務	清掃	屋内	B	B	B	<p>○【清掃】トイレトーパーを香り付きのものに変更し、消臭している。また、トイレ清掃を週3日から5日に増やし、石鹸を個体からハンドブッシュ式に変更するなど利用者に対する優しい心遣いがある。</p> <p>○【清掃】2月の大雪後の除雪は毎日行われている。</p> <p>○【清掃】スノーパーによる園路清掃が効率良く行われている。</p> <p>○【植物管理】樹木管理を利用者の少ない月曜日に集中して実施している点が評価できる。</p> <p>○【植物管理】倒木や枯枝による危険を回避するための努力を行っている。</p> <p>○【植物管理】倒木への対応がスムーズであり、緊急の対応が評価できる。造園業者の本領を發揮していた。</p>	<p>○【清掃】トイレのくもの巣が目立つ。</p> <p>○【清掃】遊具の土台の土がむき出しとなっていた箇所があった。</p> <p>○【植物管理】シラカシ・シュロ等の剪定方針が不明確である。</p> <p>○【植物管理】クローバーの繁茂を放置しているのは好ましくない。</p> <p>○【植物管理】花の管理と活用が稚拙である。来園者を楽しませる花の活用を検討する必要がある。</p> <p>○【植物管理】ボランティアによる植栽が遅れ、また気温変化が激しかったこともあり、花壇が少し荒れていた。</p>
		屋外	B				
		遊具等	B				
		競技施設					
	植物管理	中高木	A				
		低木	B				
		芝生・花壇	B				
斜面地・園路沿いの植栽							
運営業務	利用実績・運営企画		B	B	<p>○【受付接客】笑顔での対応が明るく楽しい公園をイメージさせている。</p> <p>○【受付接客】苦情への対応が丁寧に行われていた。</p> <p>○【広報・広聴】ホームページには多数の写真が掲載されており、楽しい。写真の内容も向上している。</p> <p>○【広報・広聴】園内掲示・ホームページ・facebook・ラジオ・園内アナウンス・「広報たかさき」による情報発信が効果的に行われている。</p> <p>○【県民参画】芝生の草刈作業等を障害者施設の方に任せることで、仕事場所の提供を行っている。</p> <p>○【県民参画】ボランティア参加者が年々増加しているように感じられる。</p> <p>○【県民参画】近代美術館・歴史博物館との三者連携によるイベントは、年々連携度が増しているように感じられる。</p>	<p>○【受付接客】会議などの臨時体制時に不安がある。</p> <p>○【受付接客】前年度より笑顔が減ったように感じる。</p>	
	受付接客		B				
	広報・広聴		B				
	県民の参画		B				
自主事業		B	B	<p>○小学校の大会、中学生のやるベンチャーと、子供たちがにぎやかな公園になっている。</p> <p>○猛暑のかき水販売や木登り体験など季節と景色にあった各種イベントが実施されている。</p> <p>○指定管理者職員が積極的にイベントに参加し、サポート体制が充実している。</p>	<p>○イベントに対する地元の評価は高いが、広域誘致を考慮したイベントが少ない。</p>		
その他			<p>○平成25年4月で指定管理者が変更となったが、公園が全体的にきれいになった。</p> <p>○職員の方が早出7時出勤するお陰で、事故や自動販売機窃盗の防止・早期発見につながっている。</p> <p>○指定管理者となって1年目の実績としては評価できる。</p> <p>○抜き打ちでの現地調査でも、よく管理されていた。</p> <p>○夏は日陰、冬は日なたにベンチを設置していることは評価できる。</p> <p>○各種の注意喚起が適切になされている。</p> <p>○小学校のマラソン大会前に園路が清掃されており、細かい気遣いがなされていた。</p>			<p>○スズメバチ対策が危険区域への立ち入り禁止のみで、不安である。</p>	

(3) つつじが岡公園

評価項目		評価	総括評価 (項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等		
					評価できる点	今後検討すべき点	
維持 管理 業務	清掃	屋内	B	B	B		<p>○【清掃】現地調査を行ったところ、犬の糞が2箇所落ちており、また煙草の吸殻が落ちていた。</p> <p>○【植物管理】つつじ研究センターが有効に機能しているか疑問。</p> <p>○【植物管理】花の植栽・管理は専門性に欠ける。</p> <p>○【植物管理】冬でも花壇の管理をしっかりしてほしい。</p>
		屋外	B				
		遊具等	B				
		競技施設					
	植物 管理	中高木	B				
		低木	B				
		芝生・花壇	B				
斜面地・園路沿いの植栽							
運営 業務	利用実績・運営企画	B				<p>○【運営企画】「つつじまつり」など、つつじに関するイベントには力を入れているが、その他のイベントは活発に行われていない。</p> <p>○【広報・広聴】来園者の意見・クレーム等の収集に対する積極的な取組が不足している。</p> <p>○【広報・広聴】リニューアル後の新たな園内マップの作成を怠っている。利用者サービスへの意欲が感じられない。</p>	
	受付接客	B					
	広報・広聴	B					
	県民の参画	B					
自主事業		B				<p>○新たな取組がなく、検討中の事業しかない。</p>	
その他						<p>○リニューアル施設や病害虫対応に、積極的・意欲的な管理の姿勢が感じられない。</p> <p>○つつじ古木群の管理は、近年の管理方法の反省をしてほしい。</p>	

(4) 金山総合公園

評価項目		評価	総括評価 (項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等		
					評価できる点	今後検討すべき点	
維持管理業務	清掃	屋内	A	A	A	<p>○【清掃】園路には落葉もなく、きれいに管理されている。</p> <p>○【清掃】清掃に電動洗浄機を導入した。</p> <p>○【清掃】大雪時に適切な対応ができた。</p> <p>○【植物管理】樹木や芝の手入れがよくできている。</p> <p>○【斜面地の植栽】頂上付近まで刈り込み、景観及びイノシシ対策に配慮している。</p> <p>○【斜面地の植栽】ユリ・東洋ラン・カタクリ等の下草発生にまでこぎ着けた点は評価できる。</p>	<p>○【清掃】ベンチの塗装やレストハウス内の机・椅子のデザインの統一性に疑問がある。</p> <p>○【植物管理】花の修景をボランティアに依存しすぎていて、美観・デザイン面で問題がある。</p>
		屋外	A				
		遊具等	A				
		競技施設					
	植物管理	中高木	A				
		低木	A				
		芝生・花壇	A				
斜面地・園路沿いの植栽		A					
運営業務	利用実績・運営企画		A	A	A	<p>○【運営企画】企画部会議を実施している。</p> <p>○【広報・広聴】公園の魅力向上とともに、マスコミの注目度も増すという好循環が生じている。</p> <p>○【広報・広聴】読売・上毛・東京新聞に掲載された実績は評価できる。</p> <p>○【広報・広聴】ホームページの活用やチラシ・パンフレットの配布を積極的に行っている。</p> <p>○【県民の参画】金山山歩・自然ふれあいクラブの実施等、関係団体との連携が図られている。児童会館との共同イベントも良い。</p> <p>○【県民の参画】ボランティア総会が開催されるまでに発展し、ネットワークが拡大している。</p> <p>○【県民の参画】太田女子高校・鳥之郷小学校への野外活動場所の提供協力等での協調は評価できる。</p>	
	受付接客		A				
	広報・広聴		A				
	県民の参画		A				
自主事業		A				<p>○現状維持ではなく、常に利用者の気持ちを考えながら、新たな事業企画や既存事業の内容向上のための意欲的な取組を行っている。</p> <p>○季節に応じた各種イベントを実施している。</p> <p>○ふれあい工房の利用者増加への取組(出張教室等)は、評価できる。</p>	
その他						<p>○けがのリスクの高い遊具が多いが、適切な安全管理が行われている。</p> <p>○指定管理者制度の趣旨をよく理解した管理が行われている。職員の意識・意欲も高く、適切な管理と積極的な誘客が図られている。</p> <p>○ほとんどが仕様書以上の管理・運営がなされ、気持ちの良い公園となっている。</p>	

(5) 観音山ファミリーパーク

評価項目		評価	総括評価 (項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等		
					評価できる点	今後検討すべき点	
維持管理業務	清掃	屋内	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○【清掃】トイレ・施設内ともに清掃が行き届いており、気持ち良く利用できる。屋外にも散乱するゴミ等が見当たらない。 ○【清掃】トイレ清掃の取組を強化し、ぐんまビジタートイレ認証の更新を得た。 ○【清掃】「ホテルに負けるな」のコンセプトには感動する。 ○【清掃】【植物管理】清掃や植物管理法について、専門家の指導を受け、また作業者が技術交流をしつつ、技術の向上に努めている。 ○【植物管理】園内の所々に花壇があり、とてもきれいに管理されている。 ○【植物管理】公園周囲の柵外側の刈込みが良くなった。 ○【植物管理】芝生広場はもとより、自然の森でも枯枝が見当たらず、よく管理されている。 ○【植物管理】クローバ対策として実施している頻繁な刈込みにより芝はきれいである。 ○【斜面地の植栽】定期的な下草の刈払いは適切に行われている。草丈もそろっていて、見通しが良く、目障りな景観は見当たらない。 	○【植物管理】芝生へのクローバーの拡大は問題である。
		屋外	B				
		遊具等	B				
		競技施設					
	植物管理	中高木	B				
		低木	B				
		芝生・花壇	B				
斜面地・園路沿いの植栽	B						
運営業務	利用実績・運営企画	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○【運営企画】多くのユニットを運営し、利用者拡大に努めている。 ○【運営企画】ユニットの特徴ある活動により利用者が定着している。新たなニーズに応える努力もしている。 ○【受付接客】アンケート結果から出された問題点には早急な対応を行い、改善に努めている。 ○【受付接客】苦情に対し、柔軟に対応している。 ○【受付接客】バーベキュー広場窓口職員を委託から直営に変更し、サービス向上に努めている。 ○【広報・広聴】若い世代が利用者の中核となっているので、インターネットを利用した情報発信は、新聞の行事案内より広告効果は大きい。その中でホームページ担当者を設ける取組は、有効と評価できる。 ○【広報・広聴】園内掲示も活用して、利用者に対してユニットやイベントへの参加呼びかけを積極的に実施している。 ○【県民の参画】地域住民を中心とするパークマネジメントクラブやC-クラブなどの運営協力組織との連携で、公園の維持管理などに努めている。 ○【県民の参画】イベントの企画実施・花苗の育成と植栽イベント等の公園環境をいかした事業展開は特筆すべきものがある。 ○【県民の参画】ポリテク高崎校からの木製製品受入れなど地域との連携に努めている。 ○【県民の参画】県民参加フェスタでは、学生のボランティア参加者も多い。 	○【受付接客】進歩が見られない。 ○【広報・広聴】県立公園としては誘致圏が狭く、中高年をターゲットとして広域からの誘致を検討する必要がある。	
	受付接客	B					
	広報・広聴	B					
	県民の参画	B					
自主事業		B			<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然と広さをいかしたイベントを企画し、成功させている。冬の特別企画での風揚げ体験は貴重な伝統文化の継承につながる。 ○地域住民のみでなく、広域の住民全体にアピールするイベントにも取り組んでいる点は評価できる。 	○自然の森をいかしたイベントの企画がない。	
その他					<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に遊具の安全点検を実施し、安全性・快適性の向上に努めている。 ○保守管理のみでなく、来園者に安心して楽しんでもらう公園としての役割をいかす努力を行っている。 ○抜き打ちで現地調査を実施しても、よく管理されていた。 ○評価委員会で指摘を受けた事項は改善されており、努力が感じられる。 		